

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月9日

上場取引所 大

上場会社名 システムズ・デザイン株式会社
 コード番号 3766 URL <http://www.sdci.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細谷 徳男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部長 (氏名) 関根 秀樹
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5300-7800

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 3,754 | △3.7 | 13 | — | 36 | 99.7 | 11 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 3,897 | △23.1 | 0 | △99.6 | 18 | △91.5 | △44 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 3.05 | — |
| 22年3月期第3四半期 | △12.05 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-----|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 円 銭 | 百万円 | 円 銭 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 4,442 | — | 3,391 | — | 75.6 | 917.58 |
| 22年3月期 | 4,520 | — | 3,411 | — | 74.7 | 922.53 |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 3,359百万円 22年3月期 3,377百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | 8.00 | 8.00 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 23年3月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,613 | 0.8 | 149 | 66.5 | 175 | 53.0 | 92 | — | 25.20 |

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 3,940,000株 22年3月期 3,940,000株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 278,361株 22年3月期 278,361株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 3,661,639株 22年3月期3Q 3,661,639株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (第3四半期連結累計期間) | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) セグメント情報 | 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、新興国の経済成長を背景に穏やかな回復が見られたものの、円高の進行やデフレ状態が継続する中で、景気回復の先行きは不透明な状況が継続しております。

当社グループの属する情報サービス分野においても、企業のIT投資は徐々に増加の傾向が見られますが、依然として受注環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは主要顧客との信頼関係に基づく案件受注、営業力の強化、新規採用の抑制、固定費の削減、その他諸経費の圧縮等を行い利益確保を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期における売上高は3,754,353千円（前年同四半期比3.7%減）、営業利益は13,170千円（前年同四半期比1,482.9%増）、経常利益は36,048千円（前年同四半期比99.7%増）、四半期純利益は11,161千円（前年同四半期は△44,112千円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 情報処理サービス事業

情報処理サービス事業につきましては、新規案件の受注確保に全力を尽くしてまいりましたが、継続案件の縮小もあり当面の業務量が不足し厳しい状況となりました。

この結果、当第3四半期における売上高は1,150,842千円（前年同四半期比13.2%減）、営業損失△30,208千円（前年同四半期は5,792千円の利益）となりました。

② システム開発事業

システム開発事業につきましては、主要顧客からの受注案件が徐々に増加し、技術者の待機状態が解消してまいりました。

この結果、当第3四半期における売上高は2,175,894千円（前年同四半期比1.6%増）、営業損失△26,357千円（前年同四半期は△51,881千円の損失）となりました。

③ アッセンブリー事業

アッセンブリー事業につきましては、主要顧客からの受注が徐々に回復し順調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期における売上高は427,617千円（前年同四半期比0.4%減）、営業利益69,736千円（前年同四半期比48.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、売掛金の減少及び仕掛品の増加により前期末比77,895千円減の4,442,873千円となりました。純資産は利益剰余金等の減少により前期末比19,254千円減の3,391,898千円となり、自己資本比率は75.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が25,516千円となり、賞与引当金の減少△117,982千円、売上債権の減少448,380千円、たな卸資産の増加△153,137千円により、当第3四半期連結会計期間末には2,297,006千円となりました。その結果資金残高は、前連結会計年度末に比べ241,103千円増加となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は280,665千円（前年同四半期は154,613千円の獲得）となりました。これは主に賞与引当金の減少△117,982千円、売上債権の減少448,380千円、たな卸資産の増加△153,137千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は△9,368千円（前年同四半期は△101,669千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△4,880千円、子会社株式の取得による支出△4,250千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動において使用した資金は△30,193千円（前年同四半期は△51,751千円の使用）となりました。これは主に配当金の支払額△29,293千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成22年11月2日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

① 固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却額を期間按分して算定する方法によっております。

② 一般債権の貸倒見積高の算定方法は、四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法は、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ1,142千円減少し、税金等調整前四半期純利益は8,755千円減少しております。

表示方法の変更

四半期連結損益計算書

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,297,006 | 2,055,902 |
| 受取手形及び売掛金 | 670,877 | 1,119,257 |
| 商品及び製品 | 14,272 | 11,604 |
| 仕掛品 | 240,761 | 85,734 |
| 原材料及び貯蔵品 | 11,648 | 16,205 |
| その他 | 140,921 | 120,399 |
| 貸倒引当金 | △630 | △562 |
| 流動資産合計 | 3,374,856 | 3,408,541 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 328,506 | 328,506 |
| 減価償却累計額 | △189,058 | △180,020 |
| 建物及び構築物(純額) | 139,447 | 148,485 |
| 機械装置及び運搬具 | 99,340 | 149,624 |
| 減価償却累計額 | △94,337 | △141,285 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 5,002 | 8,339 |
| 土地 | 112,278 | 112,278 |
| その他 | 175,652 | 170,007 |
| 減価償却累計額 | △140,130 | △137,778 |
| その他(純額) | 35,522 | 32,228 |
| 有形固定資産合計 | 292,252 | 301,332 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 150,912 | 168,263 |
| その他 | 68,893 | 85,357 |
| 無形固定資産合計 | 219,805 | 253,620 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 76,801 | 76,477 |
| 繰延税金資産 | 153,582 | 153,138 |
| その他 | 325,574 | 327,658 |
| 投資その他の資産合計 | 555,959 | 557,274 |
| 固定資産合計 | 1,068,016 | 1,112,227 |
| 資産合計 | 4,442,873 | 4,520,768 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 33,676 | 55,530 |
| 未払金 | 271,463 | 257,296 |
| 未払法人税等 | — | 8,197 |
| 賞与引当金 | 37,130 | 155,112 |
| 役員賞与引当金 | 5,373 | 7,715 |
| 受注損失引当金 | — | 15,479 |
| その他 | 122,879 | 71,656 |
| 流動負債合計 | 470,523 | 570,987 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 512,239 | 476,009 |
| 役員退職慰労引当金 | 68,212 | 62,618 |
| 固定負債合計 | 580,451 | 538,628 |
| 負債合計 | 1,050,974 | 1,109,615 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 333,906 | 333,906 |
| 資本剰余金 | 293,182 | 293,182 |
| 利益剰余金 | 2,803,315 | 2,821,447 |
| 自己株式 | △85,218 | △85,218 |
| 株主資本合計 | 3,345,186 | 3,363,318 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 14,672 | 14,655 |
| 評価・換算差額等合計 | 14,672 | 14,655 |
| 少数株主持分 | 32,039 | 33,179 |
| 純資産合計 | 3,391,898 | 3,411,153 |
| 負債純資産合計 | 4,442,873 | 4,520,768 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 売上高 | 3,897,190 | 3,754,353 |
| 売上原価 | 3,205,089 | 3,079,672 |
| 売上総利益 | 692,101 | 674,681 |
| 販売費及び一般管理費 | 691,269 | 661,510 |
| 営業利益 | 832 | 13,170 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 360 | 621 |
| 受取配当金 | 1,949 | 1,043 |
| 不動産賃貸料 | 720 | 720 |
| 投資事業組合運用益 | — | 1,199 |
| 助成金収入 | 11,700 | 17,116 |
| 雑収入 | 2,842 | 2,418 |
| 営業外収益合計 | 17,573 | 23,118 |
| 営業外費用 | | |
| 不動産賃貸原価 | 264 | 240 |
| 投資事業組合運用損 | 90 | — |
| 営業外費用合計 | 355 | 240 |
| 経常利益 | 18,050 | 36,048 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 6,618 | — |
| 保険解約返戻金 | 6,627 | — |
| その他 | 1,000 | — |
| 特別利益合計 | 14,246 | — |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 633 | 446 |
| 保険解約損 | 9,617 | — |
| 減損損失 | 41,600 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 7,612 |
| その他 | 703 | 2,473 |
| 特別損失合計 | 52,554 | 10,532 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △20,258 | 25,516 |
| 法人税等 | 22,679 | 14,594 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 10,921 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 1,175 | △239 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △44,112 | 11,161 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △20,258 | 25,516 |
| 減価償却費 | 42,199 | 40,087 |
| 減損損失 | 41,600 | — |
| のれん償却額 | 26,024 | 21,601 |
| 有形固定資産除却損 | 42 | 1,605 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △6,151 | — |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 633 | 446 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 7,612 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △133,510 | △117,982 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △7,314 | △2,342 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 35,201 | 36,229 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 4,523 | 5,593 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △223 | 68 |
| 受注損失引当金の増減額(△は減少) | — | △15,479 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,310 | △1,664 |
| 投資事業組合運用損益(△は益) | 90 | △1,199 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 467,694 | 448,380 |
| 敷金及び保証金の増減額(△は増加) | △4,766 | 1,390 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △31,109 | 5,276 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △172,789 | △153,137 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 6,471 | △21,853 |
| その他 | 15,964 | 37,788 |
| 小計 | 262,012 | 317,939 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,308 | 1,662 |
| 法人税等の支払額 | △109,707 | △38,936 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 154,613 | 280,665 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △100,000 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △200 | — |
| 投資有価証券の売却による収入 | 7,416 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △8,106 | △4,880 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △4,228 | △2,378 |
| 貸付けによる支出 | △3,850 | — |
| 貸付金の回収による収入 | 4,300 | 2,141 |
| 投融資の回収による収入 | 3,000 | — |
| 子会社株式の取得による支出 | — | △4,250 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △101,669 | △9,368 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △47,601 | △29,293 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △4,150 | △900 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △51,751 | △30,193 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,192 | 241,103 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,101,080 | 2,055,902 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 2,102,273 | 2,297,006 |

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

| | 情報処理サービス事業 (千円) | システム開発事業 (千円) | アッセンブリー事業 (千円) | 計(千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|-----------------------|--------------------|------------------|-------------------|-----------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 1,326,230 | 2,141,715 | 429,244 | 3,897,190 | — | 3,897,190 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,326,230 | 2,141,715 | 429,244 | 3,897,190 | — | 3,897,190 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 5,792 | △51,881 | 46,921 | 832 | — | 832 |

(注) 1. 事業は製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品は下記のとおりであります。

| 事業区分 | 主要製品 |
|------------|---|
| 情報処理サービス事業 | データソリューション、データ&ライブラリー、システムオペレーション、C T I |
| システム開発事業 | ソフトウェア開発受託、システムコンサルティング、システム導入・運用サポート |
| アッセンブリー事業 | パッケージソフトの製造配送 |

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「情報処理サービス事業」、「システム開発事業」及び「アッセンブリー事業」の3つを報告セグメントとしております。

「情報処理サービス事業」は、データソリューション、データ&ライブラリー、システムオペレーション、CTIを行っております。「システム開発事業」は、ソフトウェア開発受託、システムコンサルテーション、システム導入・運用サポートを行っております。「アッセンブリー事業」は、パッケージソフトの製造配送を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 調整額 | 四半期連結損益計算書計上額 |
|-------------------|-----------|-----------|---------|-----------|-----|---------------|
| | 情報処理サービス | システム開発 | アッセンブリー | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客に対する売上高 | 1,150,842 | 2,175,894 | 427,617 | 3,754,353 | — | 3,754,353 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,150,842 | 2,175,894 | 427,617 | 3,754,353 | — | 3,754,353 |
| セグメント利益又は損失（△） | △30,208 | △26,357 | 69,736 | 13,170 | — | 13,170 |

（注）セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。